

「 岐阜県発日本一、世界一 ~ 9月 ~ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第35回全日本社会人ソフトテニス選手権大会(一般男子の部)	第2位	H19.9.2	森 健禎・村上 広昭 (大鹿印刷所)		第2シードの森・村上選手は危なげない試合運びで勝ち上がった。準決勝は3回戦で花田・川村選手(京都市役所・岡山市役所)、準々決勝で中堀・高川選手(NTT西日本広島)の日本代表ペアを破った古賀・玉置選手との同チーム対決となった。4 - 1で決勝に進んだ森・村上選手は篠原・小林選手(日体桜友会)に3 - 4と惜しくも競り負け、2年連続の準優勝となった。 (岩手県北上市:和賀川グリーンパークコート)
	第3位	H19.9.2	古賀 崇史・玉置 雄基 (大鹿印刷所)		
第7回全日本新体操クラブ 団体選手権(ジュニアの部)	第2位	H19.9.9	NPOぎふ新体操クラブ [横山加奈・伊藤加奈 糸川みなみ・吉田 茜 小出菜子美・(高田夏穂)		8月に行われた全国中学校体育大会の個人の部で優勝を飾った横山加奈選手を中心に得点を重ねたNPOぎふ新体操クラブは、11.975点を挙げて全98チーム中の2位に輝いた。 (千葉県千葉市:千葉ポートアリーナ)
平成19年度日本カヌーフラット ウォーターレーシング選手権大会 男子カナディアンシングル500M	第2位	H19.9.9	小島 嶺太 (トヨタカローラ岐阜)		平成19年度フラットウォーターレーシング日本代表選手の小島選手はカナディアンシングル500Mにおいて、同じく代表選手の丸山孝二選手に僅かに及ばず2位となった。また、小島選手は他チームの選手と組んだフォア500Mで3位、ペア1000Mでそれぞれ3位に食い込んだ。渡辺正浩選手は大正大学と組んだカヤックフォア200Mで、専修大学に0.5秒差で敗れ2位となった。カヤック女子で、平成19年度フラットウォーターレーシング日本代表選手の辻岡さやか選手はカヤックペア500Mに出場し激しい2着争いを演じた。僅か0.059秒差で3位となった。(石川県小松市:木場潟カヌー競技場)
男子カヤックフォア200M	第2位	H19.9.10	渡辺正浩(トヨタカローラ岐阜)、 今野・遊佐・山本		
男子カナディアンフォア500M	第3位	H19.9.9	小島(トヨタカローラ岐阜)、 安藤・岩崎・藤井		
男子カナディアンペア1000M	第3位	H19.9.7	小島(トヨタカローラ岐阜)、 小椋		
女子カヤックペア500M	第3位	H19.9.9	辻岡さやか(トヨタカローラ岐阜)、 佐竹		
第20回全国少年フェンシング大会	第2位	H19.9.17	安田 有希 (輪之内中3年、大垣JFC)		予選プールを3戦全勝で勝ち上がった安田選手は、トーナメント4回戦で柳岡選手(秋田JF)に逆転勝ちし、波に乗った。準決勝は10 - 9で田村選手(沼田FC)を下したが、決勝では大石選手(JF OITA)に敗れた。昨年度の3位より順位を上げ、ケーニヒ杯国際大会への出場権を得た。(京都府大山崎町:大山崎町体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第55回全日本実業団対抗陸上 競技選手権大会 女子200M	第1位	H19.9.22	成瀬 美紀 (日女体大教員)	関商工高卒	実業団1年目の成瀬選手は地元開催の全国大会で優勝を狙ってレースに臨んだ。決勝では、渡辺選手(ナチュリル)、栗本選手(ナチュリル)の2選手を0.01秒差で抑えて、同大会初制覇を果たした。 (岐阜県岐阜市:長良川競技場)
男子やり投	第2位	H19.9.23	荒井 謙 (七十七銀行)	斐太高卒	大柄な選手が多い中、小兵ながら抜群の筋力と粘り強さを持つ荒井選手は6投目に73m05を記録し、王者の村上選手(スズキ)を逆転しトップに立った。しかし、最後に大きく記録を上げた村上選手に再度逆転を許し2位となった。 (同上)
第15回全日本社会人男子 新体操選手権大会 男子1部個人総合	第2位	H19.9.23	有沢 一希 (アルフレッサ日建産業)		有沢選手は最初のスティックで出遅れたが、リング、ロープ、クラブでミスをせずに着実に得点し、野田選手(KYOTO花園R・G・C)に次いで準優勝を飾った。 4位に入った坂本選手(アルフレッサ日建産業)とともに、11月の全日本選手権への出場権を得た。 (茨城県ひたちなか市:笠松運動公園体育館)